



自民党衆議院埼玉県
第一選挙区支部長

(見沼区・浦和区・緑区・岩槻区)

村井ひできです。

本号では、「社会保障改革」、

「小泉進次郎議員からの

メッセージ」についてお伝えいたします。

社会保障の目的とは？

今回は、最近話題の「社会保障・税一体改革」をテーマに、村井ひできの目指す社会保障改革を説明します。

社会保障の議論は、非常に複雑です。年金、医療、介護、どれ一つとっても、専門用語(基礎年金と厚生年金、診療報酬、介護報酬など)が飛び交い、議論の詳細まで完全に理解することは簡単ではありません。

村井ひできは、制度の各論を細かく議論するのではなく、**そもそも社会保障の目的とは何なのか**、まず基本理念をしっかり示すことが、議論の混乱を防ぐ上で大事だと思います。

社会保障の目的には、大きく二つの考え方があります。一つは、**結果の平等**を目指すもの。もう一つは、**機会の平等**を目指すものです。



村井ひでき31歳。小泉進次郎30歳。共に日本の未来を創ります。小泉議員からのメッセージは裏面。

悪平等は経済活力を損なう！

民主党は、**結果の平等**を重視しています。最近、「**最低保障年金**」という制度が話題になっています。これは「全ての高齢者に月額7万円の年金を保障する」点で、まさに典型的な「結果の平等」です。

結果の平等を目指すという考え方は、その「負の面」さえ見なければ、非常に魅力的です。誰でも、65歳を過ぎれば、自動的に国から7万円もらえる。実に理想的な社会です。

しかし、待ってください。どこか胡散臭くありませんか。共産主義も、全ての人が平等なユートピアを目指しましたが、実際には個人の自由や活力を否定して経済の破綻を招き、**平等に貧しい社会**になってしまいました。

村井ひできは、民主党の社会保障の理念は、我々を「**貧困の悪平等**」に陥れる可能性が高いと考えます。最低保障年金を例に説明します。最低保障年金を実現するためには、莫大な財源が必要です。試算では、(2015年までに消費税を5%引き上げる話とは別に)消費税7%分の追加増税が必要とされています。もちろん、老後の生活の安心を確保することは大事。しかし、いたずらに何度も増税を進めれば、消費が落ち込むのは勿論、将来に向けた投資がやせ細り、この国はジリ貧になることは確実です。

さらに、最低保障年金は、**若い世代にとっても麻薬**です。現在の年金制度は、保険料を25年以上払わないと年金はもらえず、40年間払って始めて満額が支給されます。コツコツと努力してきた人には、努力した分だけお返しするという制度です。しかし、最低保障年金は、保険料を納めなくても、納めていた人と同じ額の年金が支給されます。こんな制度で、誰がコツコツと保険料を納めようとするのでしょうか。

最低保障年金は、最初は麻薬のように「夢」を見せてくれるかもしれませんが、しかし、やがて誰も努力しなくなって経済活力が低下し、保険料も入らなくなって年金制度自体が崩壊します。その時に、我が国は「**平等に貧困な社会**」になっているでしょう。

村井ひできの社会保障改革プラン ～努力を応援する社会保障へ～

村井ひできが考える社会保障とは、機会の平等、すなわち「**努力を応援し、その努力が報われる社会**」を支えるべきものです。悪平等を目指すのではなく、個人の活力を引き出し、伸ばしていく。国が全面に出て所得を再配分するのではなく、個人が主役となって活躍できるための社会基盤を作る。これが社会保障の目的です。

そのために、村井ひできは3つの改革を行います。

第1に、**努力が正当に評価される仕組み**を整備します。例えば、医療。最近、「おいしい社員食堂」が話題になっていますが、社員の健康管理に力を入れ、医療費を抑制しようとしている企業が増えています。しかし、今の医療保険は、こうした企業努力を評価せず、保険料率も下げられない仕組みになっています。社員の健康管理に気をつけて医療費を抑制した企業には、保険料率の引き下げを認めることで、努力を評価する医療制度を作ります。

第2に、**努力しない人が得をする制度を廃止**します。例えば、生活保護。昨年、生活保護を受けている人が200万人を越え戦後最悪の水準になりました。生活保護費は3兆円を越えています。このうち、半分が医療扶助であり、不正に医薬品の支給を受け、ネット上で売買するといった事例もあります。

もちろん、本当に救うべき方はいます。ただ、働けるにも関わらず、生活保護に頼っている人もいないのでしょうか。そういう人には、生活保護ではなく、

生活費を支給しつつ、半年から1年間、しっかり職業訓練を受けてもらうようにすべきです。また、企業にもそういう人を雇ったときの税制優遇や補助金を支給することで、社会復帰をスムーズにします。少し厳しいかもしれませんが、「働かざる者、食うべからず」が原則の仕組みを整備します。

第3に、**雇用を生み出す社会保障改革**を行います。現在、我が国の雇用を生み出す源泉は、医療、介護、保育などの社会保障産業です。しかし、待機児童や待機老人に象徴されるように、せつかく需要があっても、規制などがネックになって十分なサービスが供給されていません。民間参入の促進などで、こうした産業の活性化を図り、良質な雇用の場をどんどん生み出していきます。

悪平等の社会保障から、努力を応援する社会保障へ。村井ひできは、骨太の理念に従って、一歩ずつ制度を見直していくことで、活力と安心が両立できる豊かな社会を目指して参ります。



祖母と親戚の子達と。子ども達の未来と老後の安心をしっかりと保障する。そのためには、「頑張れる人は、しっかりと頑張る」仕組みが必要です。

“小泉進次郎青年局長からのメッセージ”

自由民主党青年局長の小泉進次郎です。政権交代から二年以上経っても「変わらない自民党」という声をよく聞きます。一度失った信頼を取り戻すことは簡単ではありません。信頼回復のためには、過去を反省し、日本が直面している課題を正直に語り、改革を進めるしかありません。私は全国の仲間の若い力で、「変わらない自民党」を変え、新しい自民党、そして新しい日本を創りたい。それを実現するためには、村井英樹さんの力がどうしても必要です。村井英樹さんの政策力、決断力、そして、安定した職を捨てても「政治を変えたい」という国を想う気持ち。必ず皆さんの力になります。村井さんに、皆さんの温かいご声援をよろしく願いいたします。



村井ひできと話をしてみませんか？

村井ひでき事務所では、随時ミニ集会を開催。皆様から国政に対するご意見を伺い、村井ひできの考えを述べさせて頂いております。「消費税問題」から、「身近な地域の話」までテーマは何でも結構です。村井ひできとの懇談をご希望の方は、是非、村井ひでき事務所までご連絡ください。

ポスター設置のお願い！

ポスター（右写真）設置にご協力頂ける方は村井ひでき事務所までご連絡ください。
サイズ：縦84cm×横60cm



『村井ひできプロフィール』

昭和55年さいたま市生まれ(旧浦和市)。
浦和市立別所小学校、私立海城中学・高等学校、
東京大学卒業。平成15年財務省入省。米ハーバード大学大学院修士・ケネディ行政大学院客員研究員を経て、主税局課長補佐、参事官補佐。平成23年9月財務省退官。一般公募を経て、10月より現職。

ポスティングボランティア募集！

政策本位の政治を実現するため、多くの方に「村井ひでき通信」を読んで頂きたいと思っています。ご自宅の周囲10件でも結構です。ご協力頂ける方は村井ひでき事務所までご連絡ください。

<村井ひでき事務所連絡先>

住所：浦和区高砂1-10-18-4F TEL:048-825-0085 FAX:048-826-5304 E-mail:info@muraihideki.com